

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公表番号】特表 2000-512849 (P2000-512849A)

【公表日】平成 12 年 10 月 3 日 (2000.10.3)

【出願番号】特願平 10-503011

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

C 0 7 K 16/40

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 9/48

C 1 2 P 21/06

C 1 2 P 21/08

// (C 1 2 N 15/09

C 1 2 R 1:01 )

(C 1 2 N 9/48

C 1 2 R 1:19 )

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/40

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 9/48

C 1 2 P 21/06

C 1 2 P 21/08

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 R 1:01

C 1 2 N 9/48

C 1 2 R 1:19

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 12 日 (2004.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】



(20,800円)

平成16年7月/2日

特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

平成10年特許願第503011号

## 2. 補正をする者

名称 ディベールサ コーポレーション

## 3. 代理人

住所 東京都港区虎ノ門1丁目17番1号  
虎ノ門5森ビル3階

電話番号 03(3503)8637

氏名 (9109) 弁理士 平木 祐輔

## 4. 補正により増加する請求項の数

13

## 5. 補正対象書類名

請求の範囲

## 6. 補正対象項目名

請求の範囲

## 7. 補正の内容

(1) 本願請求の範囲を別紙の通り補正する。



(別紙)

請求の範囲

1. 下記 (a) ～ (i) からなる群から選択される、単離または組換えポリヌクレオチド:

- (a) 配列番号2に示すアミノ酸配列をコードするポリヌクレオチド;
- (b) 配列番号2のアミノ酸1～622を含む酵素をコードするポリヌクレオチド;
- (c) 配列番号1のヌクレオチド1～1869に示す配列を含む前記(a)のポリヌクレオチド;
- (d) 配列番号1のヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド;
- (e) 配列番号1に示す核酸配列に対して少なくとも70%の配列同一性を有する配列を含むポリヌクレオチド;
- (f) TがUであってもよい前記(a)～(e)のいずれか1つのポリヌクレオチド;
- (g) 前記(a)～(d)のいずれか1つのポリヌクレオチドに対してその配列が相補的なポリヌクレオチド;
- (h) 少なくとも15塩基の長さであって、かつ前記(a)～(g)のいずれか1つのポリヌクレオチドに、45℃で0.9M NaCl、50mM NaH<sub>2</sub>PO<sub>4</sub>、pH 7.0、5.0mM Na<sub>2</sub>EDTA、0.5% SDS、10×デンハルツ試薬および0.5mg/mlポリリボアデニル酸を含むハイブリダイゼーション条件下でハイブリダイズする、前記(c)～(g)のいずれか1つのポリヌクレオチドの断片; および
- (i) 配列番号1に示す核酸配列に、45℃で0.9M NaCl、50mM NaH<sub>2</sub>PO<sub>4</sub>、pH 7.0、5.0mM Na<sub>2</sub>EDTA、0.5% SDS、10×デンハルツ試薬および0.5mg/mLポリリボアデニル酸を含むハイブリダイゼーション条件下でハイブリダイズする配列を含むポリヌクレオチド。

2. 配列番号1に示す核酸配列に対して90%の配列同一性を有する配列を含む、請求項1に記載のポリヌクレオチド。

3. 配列番号1に示す核酸配列に対して95%の配列同一性を有する配列を含む、請求項1に記載のポリヌクレオチド。

4. 原核生物から単離されたものである、請求項1～3のいずれか1項に記載のポリヌクレオチド。
5. 請求項1～4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。
6. 発現ベクターである、請求項5に記載のベクター。
7. クローニングベクターである、請求項5に記載のベクター。
8. プラスミドである、請求項5～7のいずれか1項に記載のベクター。
9. ファージ由来である、請求項5～7のいずれか1項に記載のベクター。
10. ウイルス由来である、請求項5～7のいずれか1項に記載のベクター。
11. 染色体DNA配列、非染色体DNA配列、または合成DNA配列を含む、請求項5～10のいずれか1項に記載のベクター。
12. 請求項5～11のいずれか1項に記載のベクターで形質転換された宿主細胞。
13. 原核細胞である、請求項12に記載の宿主細胞。
14. 動物細胞、哺乳動物細胞、植物細胞、昆虫細胞、真菌細胞、酵母細胞および細菌細胞からなる群より選択される細胞である、請求項12に記載の宿主細胞。
15. アデノウイルス、枯草菌 (*Bacillus subtilis*) またはストレプトミセス (*Streptomyces*) である、請求項12に記載の宿主細胞。
16. 細菌細胞が大腸菌 (*E. coli*) である、請求項14に記載の宿主細胞。
17. 真菌細胞が酵母細胞である、請求項14に記載の宿主細胞。
18. 昆虫細胞が、ショウジョウバエS2またはスポドプテラSf9である、請求項14に記載の宿主細胞。
19. 動物細胞が、チャイニーズハムスター卵巣 (CHO) 細胞、COS細胞、またはボウズ (Bowes) 黒色腫細胞である、請求項14に記載の宿主細胞。
20. 下記 (a) ～ (d) からなる群から選択される、単離または組換えポリペプチド：
  - (a) 配列番号2に示すアミノ酸配列を有するポリペプチド；
  - (b) 請求項1～4のいずれか1項に記載のポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチド；
  - (c) 配列番号2に示すアミノ酸配列に対して少なくとも70%の同一性を有するアミノ酸配列を含むポリペプチド；
  - (d) 前記 (a) ～ (c) のいずれか1つのポリペプチドの少なくとも30個のアミ

ノ酸残基の配列を含むポリペプチド。

21. 配列番号2に示すアミノ酸配列に対して90%の同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項20に記載のポリペプチド。
22. 配列番号2に示すアミノ酸配列に対して95%の同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項20に記載のポリペプチド。
23. 請求項20～22のいずれか1項に記載のポリペプチドに結合する抗体。
24. ポリクローナルである、請求項23に記載の抗体。
25. モノクローナルである、請求項23に記載の抗体。
26. 配列番号2に示すアミノ酸配列由来の、請求項12～19のいずれか1項に記載の宿主細胞中で発現される単離または組換えアミダーゼポリペプチド。
27. 請求項12～19のいずれか1項に記載の宿主細胞中で発現されうる配列番号2に示すアミノ酸配列をコードする単離または組換えポリヌクレオチド。
28. ポリペプチドを製造する方法であって、請求項20～22のいずれか1項に記載のポリペプチドをコードするポリヌクレオチドが発現される条件下で、請求項12～19のいずれか1項に記載の宿主細胞を増殖させ、そして該ポリペプチドを単離することを含み、但し該ポリペプチドがアミダーゼ活性を有する酵素である、前記方法。
29. 請求項5～11のいずれか1項に記載のベクターで細胞を形質転換またはトランスフェクトして、該細胞が該ベクターに含まれる請求項1～4のいずれか1項に記載の単離または組換えポリヌクレオチドによってコードされるポリペプチドを発現するようにすることを含んでなる、組換え細胞の製造方法。
30. ペプチドまたはペプチドミメティック合成においてペプチドのN末端からアルギニン、フェニルアラニンまたはメチオニンを除去する方法であって、ペプチドまたはペプチドミメティック合成においてペプチドのN末端からアルギニン、フェニルアラニンまたはメチオニンを除去するのに有効な量の請求項20～22および26のいずれか1項に記載のポリペプチドを投与することを含む、前記方法。